

令和4年度 環境活動スタート事業

1 実施校

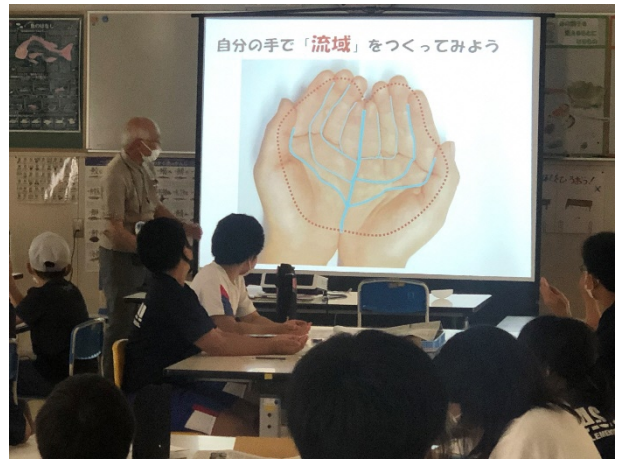
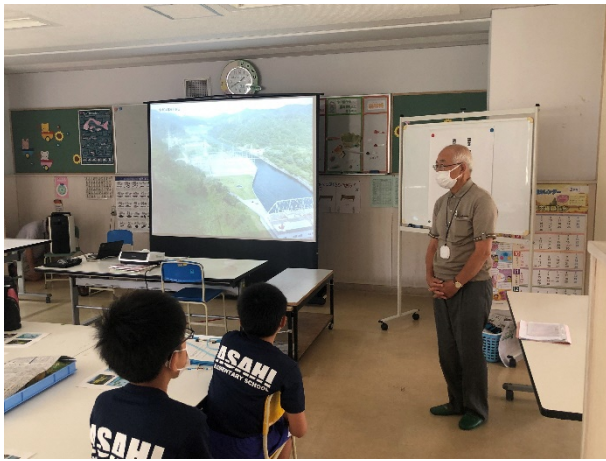
只見町立朝日小学校（4～6学年）

2 実施日

令和4年9月9日（金曜日）

3 内容

「地球温暖化とわたしたちの生活～川とのかかわり」をテーマに、NPO法人いわき環境研究室顧問の橋本 孝一氏による講演会を行いました。地球温暖化と私たちの生活の関係について、流域や分水界のジオラマ実演を交えながら分かりやすく説明しました。



4 講演を聞いての感想

豪雨災害の時、堤防がこわれて、もう見えないくらいの量の水があり、とても怖かったです。緑のダムをこわさずに残し、少しでも被害をおさえたいと思いました。

流域についてわかった。只見の雪が、じょじょに減っていることも分かった。福島豪雨災害は、3日で700mmも降ったと聞いておどろいた。

30mm~50mm→バケツをひっくり返した感じなのに、只見では3日で700mmも雨が降っていたので、すごかったんだなと思いました。日本だけじゃなく、世界でも、中国で20万人避難やアメリカの爆弾低気圧などなど地球温暖化の影響なんだなと思いました。只見町の豪雨みたいなことにもう1回ならないようにしたいです。

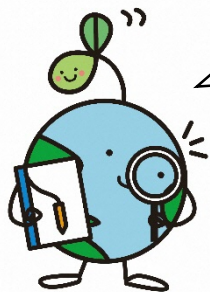
ぼくは、流域がこんなふうに流れるんだなと思いました。地球温暖化は、自分達にも関わっているから自分達でできることをやりたいと思います。自分達で対策をしていきたいと思いません。

改めて地球温暖化を止めていこうと思いました。今まで地球温暖化についてやってきたけど、話を聞いて被害などもっと詳しく知ることができました。「流域」や「分水界」という言葉を初めて知りました。

水をためる工夫に、ダム、ため池、田んぼダム、緑のダム、宅地のダム、白いダムと、たくさんあってびっくりした。

流域をつくるのも難しかった。世界の色々なところで異例なことが起きているのも知った。自分たちでできる、温暖化対策は、なるべくしていきたいと思いました。

話を聞いて、地球温暖化が進み、最近雨がたくさん降ることを知りました。地球温暖化が進むと、今のままでは気温が2.6℃~4.8℃上昇してしまうということを聞いてびっくりしました。只見にある森林も1つの対策なので自然を大切にしたいなと思いました。



福島県の地球環境保全の
キャラクター「エコたん」

講演を聞いて、自分にもできそうだったこと、やってみようと思ったことは何かな？また、それを実践してみてどう感じたかな？

・節電をする

手を洗うときに水をとめた。
ちゃんと暗くなるまで電気はつけ
なかった。

TVの時間を少なくした。（1時
間以内）



・ワンステップアクションDX（節
水、食品ロスを減らす）などの地球
温暖化の対策

毎週2回ずつ、ウォーターセーブ
デーと給食残さないデーをやってみ
て、みんな前より水を出しっぱなし
にせず、給食を残す人もだんだん
減ってきているなと感じました。



・節電
・節水

教室の電気を自分から消せた。
水道から水が出ないようにしっか
り止めた。



・水道やシャワーをこまめに止める

「水道やシャワーをこまめに止め
る」ことは、できました。水を止め
ることで少しでも地球温暖化を防げ
ると思います。この先も続けていき
たいと思います。



- ・家族や地域の人、学校みんなに危ないということを伝える。
- ・遠い所の人に今、どんな取り組みをしているのかを伝える。

家族や学校みんなに、「たいへんなんだよ」ということを伝えることが
できました。学習発表会でも、伝えることができるのでがんばります。実際に心がけ
ると紙がはれるものを作ってワンステップアクションDXというものも始めたので
これからもやっていきたいです。

